

# <前置詞> aroundの世界

## CORE IMAGE



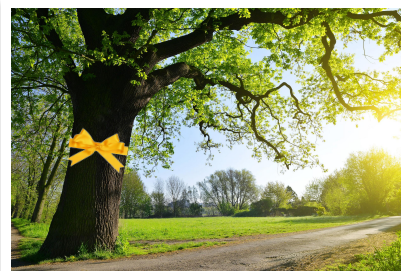
対象の周囲に

It's around 7.



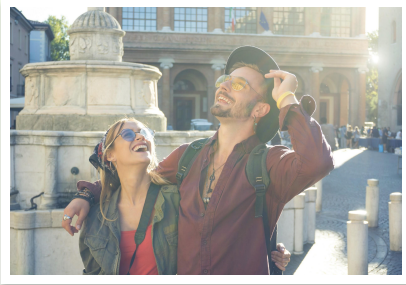
around は round が含まれるため、ぐるっと回るということと関係があります。around のコアは「**対象の周囲に**」ということで、「対象をぐるっと一回りするような」感覚があります。コアイメージは上の図のような感じです。

around は「対象をぐるっと一回りするような」感覚です。I tied that yellow ribbon **around the oak tree.** といえば、「樫の木にあの黄色いリボンを結んだ」ということです。walk **around the city** は「街をぐるっと回る」という感覚です。It's **around 7.** も7時の周囲ということで、「7時ごろ」となるのです。店が24時間営業中という場合、We are open **around the clock.** と表現します。「食卓につこう」という場合も Let's sit **around the table.** といいます。これを Let's sit about the table. といえば、次のページ下部の右図のように食卓の辺りに適当に座るという感じがします。



I tied that yellow ribbon **around the oak tree.**

樫の木にあの黄色いリボンを結んだ



walk **around** the city

街をぐるっと回る



It's **around** 7.

7時ごろだ



We are open **around** the clock.

(店が) 24 時間営業中である



Let's sit **around** the table.

食卓につこう



「バリ島を回って、それからジャワ島を旅行しました」という場合にも **I traveled around Bali first, then Java.** と言い、この around も「ぐるぐる回る」という感じです。



I traveled **around** Bali first, then Java.

バリ島を回って、それからジャワ島を旅行しました

「角を走って回る」という状況も **run around the corner** と言います。 **The runner is running around the corner.** といえば、今まさに選手が角を回っているところだ、という感じで、この around は経路になります。この around は「周りを囲んで何かがある」、さらには「回ったところに何かがある」という使い方があります。山の周りには小さな湖がたくさんある、という状況だと **There are many small lakes around the mountain.** と表現できるでしょう。また、 **There is a nice restaurant around the corner.** だと「その角を回ったところによいレストランがある」ということです。



The runner is running **around** the corner.

今まさに選手が角を回っているところだ



There are many small lakes **around** the mountain.

山の周りには小さな湖がたくさんある



There is a nice restaurant **around** the corner.

その角を回ったところによいレストランがある